



静岡インターナショナルスクール
Shizuoka International School

学校案内 2027

School Guide

静岡インターナショナルスクール

SHIZUOKA INTERNATIONAL SCHOOL

(設置者) 有限会社 静岡国際教育プロモーション

代表取締役 勝俣 元雅

〒420-0911 静岡県静岡市葵区瀬名三丁目47-3

3-47-3, SENA, AOI-KU, SHIZUOKA-CITY,
SHIZUOKA, JAPAN.

- Phone (+81)054-262-1120
- e-mail sinss@sins.co.jp
- URL <http://www.sins.co.jp>

1 学校の概要

【はじめに】

日本の高度な科学技術、それに基づく日本経済の躍進により、特にアジア諸国の多くの若者が日本に対する大きな憧れと期待をもち、日本で学ぶことで自らの将来への夢を描いています。そのために日本の高等教育機関へ進学し、学術・文化・技術等を習得しようとする学習者にとって、高いレベルの日本語能力の習得は不可欠な課題です。本校はそのような学習者を受け入れ、日本語能力を高め、学習者の夢を支援する日本語学校です。

【本校の理念】

高いレベルの言語能力を身に付けることは学習者にとって異文化理解の重要な手段となるものと捉え、学習者が留学中に日本で多くの人・物・事に接し、体験及び交流を通して、豊かな人間形成を図ることができる。

また、日本留学を通して得た日本語能力や知識・技術及び人脈などが学習者の夢を実現する手助けとなって、将来の国際社会で活躍できる人材を育成すること

を理念としています。

【目的】

日本の高等教育機関へ進学するために十分な日本語能力を習得できる日本語教育を行います。あわせて日本及び多国籍の文化や社会の理解し、共生社会を形成していく心豊かな人間形成を図ることを目標としています。

【目標】

- ・日本語能力 CEFR-B2 以上を達成できるよう、体系的かつ段階的な指導を行います。
- ・日本の社会文化(規律、配慮、思いやり等)についての理解を促進し、実社会において日本語を活用しながら実践的なコミュニケーション能力を育みます。
- ・「時間を守る」「約束を守る」「あいさつをする」といった基本的行動の定着を図ります。
- ・日本文化・伝統・歴史などを体験的に学ぶ機会を提供し、日本人の価値観等への理解を図ります。
- ・地域貢献活動の場を提供し、多様な人や文化を尊重し、理解する姿勢を育みます。

最後に、学習者が「日本に来て学んでよかった」と実感できる教育を実現できることが、本校が国際社会に貢献することにつながることであると信じています。

校長 松岡みちる

【沿革】

1990年4月13日 有限会社 静岡国際教育プロモーション設立。

1990年10月 日本語教育機関として認定。

1991年4月10日 静岡インターナショナルスクール開校。
定員90名(27名入学)

2002年4月 定員180名に増員。

2012年8月 校舎大規模改修。

2017年8月 法務省告示校として開校。

2026年10月 文部科学省認定日本語学校として開校(予定)

【 アクセス 】

*交通機関で来校する場合。

- ・最寄り駅 「JR 草薙駅」 JR 静岡駅より東京方面（上り）へ2駅目。

- ・バス乗り場「JR 草薙駅北口」 静鉄ジャストライン（草薙瀬名新田線）
「瀬名新田行」乗車（約12分）—「瀬名リンク西奈前」
- ・下車後 徒歩3分。

*車で来校する場合。

- ・東名高速道路「清水IC」で降り、静岡方面へ。
- ・国道1号線バイパスにて「鳥坂IC」で降り、側道を直進。
- ・瀬名IC交差点を右折し、直進。
- ・瀬名リンク西奈前を右折。200mほど。（付近に学校の看板あり）

(学校周辺の地図)

【学校周辺の様子】

本校は JR 静岡駅や静岡葵区役所から東へ6kmほど離れている落ち着いて、便利な住宅地として発展している地域の中にあります。

学校周辺には住宅が多く、幼稚園から大学までの学校、図書館などが教育環境が充実している地域です。また、商店街、スーパーマーケット、医療機関、銀行、ホームセンター等生活に必要な商業施設などが充実しています。さらに、公共バスの便数も多く、バイパス瀬名 IC 近くには、東京方面行への高速バス停があり、2時間半ほどで行くことができます。

| 卒業生の日本語能力結果 | | | | | 2025年3月卒業生（55名） |
|-------------|----------|----------|----------|---------|-----------------|
| JLPT | N1 | N2 | N3 | N4 | |
| | 2 | 22 | 28 | 3 | |
| CEFR対応 | 142～180点 | 112～180点 | 104～180点 | 90～180点 | |
| CEFR | C1 | B2 | B1 | A2 | |
| | 0 | 17 | 34 | 4 | |

【主な進路先】 2025年3月卒業生（55名）

- ・大学 静岡県立大学 静岡英和学院大学 静岡産業大学 四日市大学
(14人) 帝京科学大学 流通科学大学 など
- ・専門学校 静岡工科自動車大学校 静岡エアリゾート 日本電子 ECCコンピュータ
(38人) 沼津情報ビジネス 東京国際ビジネスカレッジ 静岡国際ことば学院 等
- ・就職(1人) ・帰国(1人)

【在籍状況】

2025年5月現在

| 課程 | 2024年度入学生 | | | 2025年度入学生 | | | 定員 (180) |
|--------|-----------|---------|----|-----------|---------|----|-------------|
| | 進学2年 | 進学1年6か月 | 計 | 進学2年 | 進学1年6か月 | 計 | |
| 国籍 | 4月入学生 | 10月入学生 | | 4月入学生 | 10月入学生 | | |
| ミャンマー | 32 | 12 | 44 | 32 | | 32 | 76 |
| ネパール | 20 | | 20 | 20 | | 20 | 40 |
| スリランカ | 14 | 3 | 17 | 15 | | 15 | 32 |
| 中国 | | | | 1 | | 1 | 1 |
| インドネシア | 4 | 2 | 6 | 2 | | 2 | 8 |
| ベトナム | | | | | | | |
| インド | | 1 | 1 | 1 | | 1 | 2 |
| その他 | | | | | | | |
| 合計 | 70 | 18 | 88 | 71 | | 71 | 159 |
| 卒業年月 | 2026年3月 | | | 2027年3月 | | | |

【教職員】

(経営担当役員・事務統括) 牧野富晴 (経理担当役員・教員) 新倉貴明
(校長)松岡みちる (主任) 安本直子 (本務等教員) 森川晶子 前島秀人
(本務等教員) 望月明美 杉本由美子 山田恵津子
(教員) 稲木啓子 白鳥佳恵 望月雅裕 江木美穂子 古屋厚子 山形邦夫
杉浦美江 出野和哉 小松麻悠子 杉山翔子
(事務員) 住田智代 青木佐枝子

2 学校の1年間

| 【 主な行事 】 | | | | 【学期：学習進度】 | | |
|----------|--------------------|-------|-------|------------|-------|--|
| 月 | | | | 1年次 | 2年次 | |
| | 【1学期】 | 【4学期】 | 【4学期】 | 【4学期】 | 【4学期】 | |
| 4月 | 始業式、お花見 | | | | | |
| | 入学式 | | | 初級 | 4月生 | |
| | ・オリエンテーション、補習（新入生） | | | 1 | 入学 | |
| | ・避難訓練 | | | 200 | | |
| 5月 | 遠足（ハイキング） | | | 時間 | | |
| | 健康診断 | | | A1 (N5) | 中級 | |
| 6月 | 交流会（新入生） | | | | 620 | |
| | EJU（2年生） | | | 初級 | 時間 | |
| | ・進学学校説明会（2年生） | | | 2 | N3,N2 | |
| 7月 | 七夕まつり（新入生） | | | | | |
| | JLPT（2年生） | | | 初級 | | |
| | クラス活動（バーベキュー） | | | 200 | | |
| | 【4月生募集開始】 | | | 時間 | | |
| | 夏休み（4週間） | | | A2 (N4) | | |
| 8月 | 個人面接 | | | | | |
| | 授業再開 | | | 10月生 | | |
| 9月 | ・専門学校入試開始（2年生） | | | 入学 | | |
| 10月 | 10月生入学式 | | | B2 (N2) | | |
| | ・オリエンテーション、補習（新入生） | | | | | |
| | ・健康診断（入学生） | | | N4,N3 | | |
| 11月 | 社会見学（バス） | | | 【5学期】 | | |
| | EJU（2年生） | | | 中上級 | | |
| 12月 | JLPT | | | 1 | | |
| | 交流会（新入生） | | | 200 | | |
| | ・避難訓練 | | | 時間 | | |
| | ・進路ガイダンス（1年生） | | | | | |
| | 冬休み（2週間） | | | | | |
| 1月 | 授業再開 | | | | | |
| | お茶会（2年生） | | | | | |
| | 卒業前オリエンテーション（2年生） | | | | | |
| 2月 | スピーチコンテスト | | | | | |
| | ・卒業試験 | | | | | |
| 3月 | 卒業前クラス活動（2年生） | | | | | |
| | 卒業式 | | | | | |
| | 【10月生募集開始】 | | | | | |
| | 修了式/春休み（2週間） | | | | | |
| | | | | 中級 | 卒業 | |

3 募集課程

(1) 1学年の概要

| 課程 | 定員 | クラス数 | 修学年数 | 到達目標 | 入学月 | 卒業月 |
|-----------|----|------|-------|------|-----|-----|
| 進学2年課程 | 72 | 4 | 2年 | B2 | 4月 | 3月 |
| 進学1年6か月課程 | 18 | 1 | 1年6か月 | B2 | 10月 | 3月 |

(2) 各課程の授業

| 日本語教育課程 | 修業年数 | 収容定員数 | 授業科目 | 授業時数 | 授業時数 | 卒業時 到達目標 |
|---------------|-------|-------|----------|------|------|-------------|
| 進学2年課程 | 2年 | 144人 | 総合日本語 | 880 | 1560 | B2 (N2) |
| | | | 読解 | 116 | | |
| | | | 聴解 | 68 | | |
| | | | 言語知識(文法) | 116 | | |
| | | | 言語知識(語彙) | 58 | | |
| | | | 漢字 | 244 | | |
| | | | 日本事情 | 78 | | |
| 進学1年6か月 課程 | 1年6ヶ月 | 36人 | 総合日本語 | 580 | 1160 | B2 (N2) |
| | | | 読解 | 116 | | |
| | | | 聴解 | 68 | | |
| | | | 言語知識(文法) | 116 | | |
| | | | 言語知識(語彙) | 58 | | |
| | | | 漢字 | 164 | | |
| | | | 日本事情 | 58 | | |

【主要教材】 みんなの日本語(初級)・学ぼう！日本語(初中級～中上級)

(3) 学期

学期

*進学2年課程 1学期～5学期 (5学期)

*進学1年6か月課程 3学期～5学期 (3学期)

| 学 期 | 進学2年課程 | | | | 進学1年6か月課程 | | | |
|--------|-----------------|------|--------|--------|-----------------|------|--------|--------|
| | 学習レベル (CEFR) | 授業時数 | 学習期間 | 総時数 | 学習レベル (CEFR) | 授業時数 | 学習期間 | 総時数 |
| ① | 初級 1 (A1) | 200 | 4月～6月 | 1560時間 | | | | |
| ② | 初級 2 (A2) | 200 | 7月～10月 | | | | | |
| ③ | 初中級 (B1) | 340 | 10月～2月 | | 初中級 (B1) | 340 | 10月～2月 | 1160時間 |
| ④ | 中級 (B2) | 620 | 3月～12月 | | 中級 (B2) | 620 | 3月～12月 | |
| ⑤ | 中上級 1 (C1) | 200 | 12月～3月 | | 中上級 1 (C1) | 200 | 12月～3月 | |

* 入学後1ヶ月間は補習があります。
* 時間は単位時間
* 中上級 1 は大学や社会で通用する「聞く」「話す」「書く」に特化した授業です。

(4) 時間割

授業時間は、午前と午後の2部制です。

奇数年度入学生は午前。 偶数年度入学生は午後。

| 午前 (第一部) | | 午後 (第二部) |
|---------------|------|---------------|
| 8：30 ～ 9：15 | 1時限 | 12：45 ～ 13：30 |
| 9：15 ～ 10：00 | 2時限 | 13：30 ～ 14：15 |
| 10：15 ～ 11：05 | 3時限 | 14：30 ～ 15：20 |
| 11：15 ～ 12：05 | 4 時限 | 15：30 ～ 16：20 |

※1, 2時限は45分授業。 3, 4時限は50分授業

(5) 授業日

授業日は月～金です。 休日は、土、日曜日。そして祝日です。

学校が決める長期休業日が年3回あります。

夏休み:1か月ぐらい。冬休み:2週間ぐらい。春休み:2週間ぐらい。

* 入学後1か月間ぐらいは、午前と午後に授業を行います。

4 出願資格

- 日本語を習得する目的及び習得後の計画が明確であり、それをやり遂げることができる強い意志と精神力がある者。
- 本校入学までに12年間の学校教育を修了している者。
- 入学申込み時に「日本語教育の参照枠」における日本語能力が下記以上の者。

| | |
|-----------|------------------------|
| 進学2年課程 | CEFR:A1以上。(JLPTN5相当以上) |
| 進学1年6か月課程 | CEFR:A2以上。(JLPTN4相当以上) |
- 日本留学中に要する学費及び生活費を確実に負担できる経費支弁者がいる。
また、その者の資産形成過程を通帳などの資料で証明できること。

5 出願から入学までの流れ

【事前申込】

- 出願申込前に学校へご連絡ください。
- ・事前説明をします。（募集要項、エントリーシート等を送ります。）
- ・学校へエントリーシートを提出してください。
- ※出願条件を満たしていることを確認します。

【出願】

- ・本校が定めた願書,必要な書類
- ・入学検定料(33,000円)

【選考】

- ・面接と日本語能力試験等を行います。
(現地試験等ができない場合は、オンライン等で行います。)
- ・書類審査
提出された書類内容を確認します。

【選考結果通知】

- ・合格者には「合格通知書」を発行します。
学校が合格者について「在留資格認定証明書交付申請」を行います。

【交付結果通知・入学手続き案内送付】

- ・「在留資格認定証明書」交付結果を連絡します。
- ・入学時納入金の請求書を送付します。

【納付金納入】

- ・学校へ直接納入。又は指定口座へ振り込んでください。
- ・学校寮を申し込む者は、寮費等も一緒に納付して下さい。
- ・学校寮を申し込まない者は、入学手続き時に住所を報告してください。
毎日通学できる範囲であること。
同居人が親族等である。

*居住地の確認がとれない場合は、書類を送付できません。

【ビザ申請】

- ・入学時納付金の納入確認後に、「在留資格認定証明書」「入学許可書」を送付します。
- ・申請者は日本大使館で在留ビザ申請をします。

【航空チケット購入】

- ・入国日が決まったら、日本到着の空港・日時・空港に出迎える人について連絡して下さい。

- ・学校に空港出迎えを要望する場合は、入学手続き時にご連絡ください。
出迎え人の交通費を負担していただきます。

【日本入国】

- ・空港の上陸審査時に在留カードを受け取ります。
- ・静岡へ到着しましたら学校へ来てください。
(注意) 入管で「結核非発症証明書」の確認があります。

【入校】 入国日または翌日に学校で入学手続きをします。

6 出願期間、検定料、選考方法

«申込期間»

- | | |
|---------|--|
| 進学2年 | 7月1日～7月31日（1次募集） (2次募集 8月20日～9月 5日ごろ) |
| 進学1年6か月 | 2月 1日～3月10日（1次募集） (2次募集 3月25日～4月 15日ごろ) |

※ 応募者が多数の場合は、2次募集を行いません。

«検定料» 33,000円 願書提出時に支払って下さい。

«選考方法»

① 書類選考

- ・願書に記入した内容を証明する書類に齟齬、不足がないこと。
- ・留学の目的、経費支弁能力についても確認します。

② 日本語能力確認

- ・「日本語教育の参照枠」にそって判断します。

「聞く」・「話す(やり取り)」・「読む」「表記(漢字、カタカナ)」

※筆記試験。面接試験。(経費支弁者との面談もあります)

※可能な限り現地を訪問しますが、場合によってはZoom等で

オンライン面接となることがあります。

③ 面接

- ・面接試験(日本語でインタビューします)
- ・経費支弁者とは、通訳者等を介して支弁の確認をします。

7 出願書類

«申請者本人»

- 1 パスポートの写し (無い場合は本人を証明するもの)
- 2 入学願書 ·本校所定の様式

3 留学の目的 ・申請者記述すること。 最後に直筆署名を入れる

4 顔写真

・3か月以内に撮影された物

・サイズ 横3cm×縦4cm (5枚)

頭の上に余白がある。顔の部分は25mm位。

・正面半身無帽。無背景。鮮明な物。

・裏に、名前、生年月日記入。(写真に傷をつけない)

5 最終学歴の卒業証書

・出身校は発行した卒業証書(原本)

«大学、専門学校等在学中の場合»

在学証明書と高校の卒業証書(卒業証明書)

«大学中退の場合»

在籍・履歴証明書と高校の卒業証書(卒業証明書)

※在学証明書などを発行してもらえない場合は理由書

※中国の方は、CHSI, CDGDCから発行の「学歴等認証報告」原本も可。

6 最終学歴の成績証明書

・卒業及び在籍中の成績証明書(原本)

7 日本語能力証明書

・日本語検定試験等の合格証及び成績表のコピー

・日本語学習時間証明書

(学習期間、授業出席時間数、学習レベル等の記載があるもの)

8 学歴証明書

・最終学歴以降の経歴を証明する物

9 在職証明書(原本) 申請者が職務経験がある場合。

10 健康診断書(原本) 3ヶ月以内に検診した診断書。(英語で記入。)

(注意) 「結核非発症証明書」を必要とする対象国があります。

«経費支弁者(海外居住者)»

11 経費支弁書(原本) 経費支弁者本人が記入。(経費支弁者直筆署名)

12 経費支弁者と申請者の関係を証明する公的書類

・親族関係公証書、戸籍謄本、住民表、出生証明書など

13 預金残高証明書(原本) ・銀行発行の原本

14 銀行の預金通帳コピーまたは出入金明細書 (過去1年間分)

15 資金形成過程の説明書及び資料

14の内容で出入金記録が少ない、高額入金がある場合は、その資金についてお金の出所を説明する「資金形成過程の説明書」及び、その証明資料。

15 在職証明書

- ・個人事業者は、事業証明書、営業許可証など
 - 16 収入証明書 公的機関発行の過去3年間分。
 - 17 納税証明書 公的機関発行の過去3年間分。
 - 18 身分証明書写し 写真付きのもの(IDカードなど)

《経費支弁者(日本国内在住者)》

- | | |
|-------------|--|
| 11~15 | ・上記と同様の書類。 |
| 19 住民票 | ・同一世帯に属する全員が記載されているもの。 |
| 20 所得・課税証明書 | ・市役所発行の過去3年間分。 |
| 21 在職証明書 | |
| 22 身分証明書写し | ・顔写真つきのもの(運転免許証など) ・在留カードを持っていれば在留カードコピー。 |

注意

- (1) 原本を提出できない書類は、必ず原本証明をつけてください。
 - (2) 母国語で作成されている書類には、日本語訳を添付してください。
 - (3) 証明書類には、発行者の肩書及び氏名(署名)などが記載されているもの。
 - (4) 申請者及び経費支弁者の署名は、黒いボールペンで記入してください。
 - (5) 入管庁へ提出した書類は返却されません。
 - (6) 貸与型奨学金を受給する場合は、別途必要書類がありますので、申込時にご連絡ください。
 - (7) 過去に在留資格申請をしている場合は、別途必要書類がありますので申込時にご連絡ください。

8 各課程の学費等一覧、納入方法

| ・入学検定料 | 33,000円 | | | | | | |
|------------------|----------------|------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------|
| ・授業料等 | | | | | | | (消費税10%込み) |
| 課程名 | 入学金 | 授業料 | 諸経費 | | | | 計 |
| | | | 施設設備費 | 教材費 | 行事活動費 | 健康保険費 | |
| 進学2年課程 | 66,000 | 1,320,000 | 44,000 | 77,000 | 44,000 | 55,000 | 1,606,000 |
| ・入学時納入金 | 66,000 | 660,000 | 44,000 | 77,000 | 44,000 | 55,000 | 946,000 |
| ・2年次納入金 | 0 | 660,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 660,000 |
| 進学1年6か月課程 | 66,000 | 990,000 | 33,000 | 66,000 | 39,600 | 41,800 | 1,236,400 |
| ・入学時納入金 | 66,000 | 660,000 | 33,000 | 66,000 | 39,600 | 41,800 | 906,400 |
| ・2年次納入金 | 0 | 330,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 330,000 |

«納入上の注意»

- ・ 入学前納付金は、請求書を受領後、3週間以内に納入ください。
- ・ 2年目の学費納入時期は、学期が始まる前(3月中)に海外送金等で一括納入して下さい。
＊既納の納入金については、校則で定められた場合を除き、原則として返還しません。
- ・ 在留ビザ更新をする際には、送金したことを確認できる資料が必要となりますので、送金記録を残してください。
留学滞在費用は、学生自身のアルバイト料だけでは不足するはずです。経費支弁者からの送金が必要です。

«納入方法»

※現金の場合は、学校事務窓口へ支払って下さい。

※銀行振込にかかる手数料は、全て学生の負担になります。

※手数料の関係で入金額に過不足があった場合には、入学後のオリエンテーション時に徴収又は返金を行います。

銀行振込について

※銀行振込先銀行は、静岡銀行瀬名支店です。

下記の、銀行口座に振り込んでください。

BANK NAME : THE SHIZUOKA BANK.,LTD
ACCOUNT NAME : SHIZUOKA INTERNATIONAL SCHOOL
ACCOUNT NO. : 1390487801
BRANCH NAME : SENA BRANCH SHIZUOKA CITY, JAPAN
BANK ADDRESS : 4-419, SENA-CHUO, AOI-WARD, SHIZUOKA-CITY,
SHIZUOKA, JAPAN
TEL 054-263-1841
SWIFT CODE : SHIZJPJT

9 在留資格

本校に在籍するためには「留学」の在留資格が必要です。入学時には法務省出入国在留管理庁の定めにより「在留資格認定証明書」交付申請を本校で行います。※法務省出入国在留管理庁の審査により不交付となった場合に本校はその責任を負うことはできません。

«在留資格更新»

入学後、在留資格「留学」の在留期限が切れる前に在留期間更新許可申請をしなければなりません。その更新する手続きは、本校は留学生に代わって取次申請を行います。

(注意) ・在留中に経費支弁者からの送金記録等の記録が必要になります。
アルバイトによる収入証明が必要です。

※法務省出入国在留管理庁の審査により不交付となった場合に本校はその責任を負うことはできません。

10 留学期間中の注意事項

(1) 日本の生活について ※入学後のオリエンテーションで説明します。

- ア. 日本の法律を守って生活して下さい。
- イ. ごみの出し方には、ルールがあります。かならず守ってください。
- ウ. アパート等で騒いだり、大きな音を出したりして、周りの人に迷惑をかけないで下さい。

(学校周辺は静かな環境ですので、特に注意が必要です。)

(2) アルバイトについて

- ・留学生は本来、働くことは認められていません。
- ・学校では、余暇の時間に日本語を活用して日本社会や文化などを理解するための方法として、ボランティア活動や以下の条件で資格外活動(アルバイト)をすることを認めています。

ア. 日本での生活に慣れるため、入学1ヶ月以内はアルバイトは禁止です。

イ. アルバイトは勤務時間が1週間に28時間以内です。

(長期休業期間中は、1日8時間以内。1週間40時間以内です。)

ウ. 風俗営業や風俗関係業等でのアルバイトは禁止です。

エ. 毎月1回、アルバイトの勤務実態を報告します。

オ. アルバイトを希望する場合には、法務省出入国在留管理庁の資格外活動許可が必要です。資格外活動許可には上記のルールも含まれています。

(3) 健康・安全について (国民健康保険・傷害保険・健康診断)

- ア. 日本での就学を継続するためには、病気やケガなどの際に安心して病院で治療を受けられることが大切です。そのために日本に住民登録をしている人は全員、国民健康保険に加入して、国民健康保険料を払わなければなりません。これに加入すると、医療費の自己負担は30%となります。また、入院、手術などで高額の医療費がかかる場合には、高額医療限度

額以上の医療費負担がなくなります。

・学校では、入学時に1年次分の国民健康保険料を支払います。

・2年次以降の国民健康保険料は、自分で支払います。

イ. 入学後1ヶ月以内に健康診断を行います。また1年後にも再び健康診断を行います。自分の健康をチェックして就学が継続できる健康状態を保持して下さい。

ウ. 学校内及び学校周辺での喫煙は禁止です。

・健康のためにも喫煙を辞めることを勧めます。

エ. 静岡市で生活する上で自転車は必要になります。自転車事故は多いため、自転車に乗る人は必ず傷害保険に加入することになっています。そのため、学校では入学月から卒業月までの傷害保険に加入します。

・事故に遭った場合は、警察と学校(担任)に連絡して下さい。

オ. 車の運転免許は本校在学中に取ることは禁止です。また、車を所有することも禁止です。

カ. 日本の交通事情に慣れないため、原付自転車の免許は、入国後半年間は免許をとることも運転することも禁止です。

11 学校寮について

学生の就学を支えるために、家賃が比較的安く、学校に近いアパートを借りています。そのため、部屋によって家賃が異なります。なお部屋割は国籍・性別・宗教などにより学校が決めます。

部屋は、学校で学んだことを復習したり、宿題をしたりする場として重要な場所です。また、生活時間帯もお互いに迷惑をかけるような行為はしないで、協力して生活してください。

* 入寮希望者は、入学手続きの時に入寮申し込みをしてください。

* 入寮費、約3か月分以上の家賃を入学金・授業料等の納付金と合わせて納入してください。

・部屋には、家電設備(冷蔵庫・電子レンジ・洗濯機・炊飯器・エアコン)、寝具、ガスコンロ、机、いす等を備えています。

・入寮期間は半年ごとに希望により退寮・継続します。(卒業式後1週間まで)

・期間の途中での退寮はできません。(退学等の事情がある場合は除く)

・部屋の移動希望は、1年次のみ9月、3月に希望受け付けますが、希望通りに移動できない場合があります。

・家賃は部屋によって違います。(一人1ヶ月分)

- 17000円～20000円 (二人一部屋)
22,000円～23,000円 (一人一部屋:キッチン、トイレ等共同)
26,000円～30,000円 (一人一部屋:独立部屋) 2年生優先
・毎月の光熱費、インターネット使用料、管理料がかかります。
・退寮時には、清掃料25,000円(一部屋)を徴収します。

入寮時納付金

| | |
|------------|------------------------------------|
| ・入寮費 | 50,000円 |
| ・寮費(約3ヶ月分) | <u>70,000円 (半年分の管理料、インターネット料含)</u> |
| 合計 | 120,000円 |

- «支払方法»
- ・入学時納付金と一緒に納入してください。
 - ・家賃の支払いは、70,000円以上でも可能です。
 - ・以降の寮費は、毎月25日までに翌月分の家賃を納入してください。
 - ・管理費は、4月(3,000円)、10月(3,000円)の時に半年分を納入してください。入学時は入寮費に含まれています。

«生活上のルール（禁止・注意事項）»

- ・自転車は決められた場所に整とんして置いてください。
- ・ごみは、「もえるゴミ」と「燃えないゴミ」を分けてください。
- ・生ごみは毎日、袋に入れて「もえるゴミ」袋に入れましょう。
- ・部屋の中やアパートの周りでパーティーをすることは禁止です。
- ・大きな声や音を出さないようにします。(昼間でも)
- ・部屋は土足禁止です。(入り口で靴をぬぎましょう)
- ・上半身はだかで部屋の外に出ないでください。
- ・タバコの吸い殻やごみを道路などにポイ捨てすることは禁止です。
- ・部屋の中でたばこを吸うことは禁止です。
- ・他人を宿泊させることは禁止です。(同居人の同意があっても出来ません)
家族が来日して、自分の部屋に泊める場合は、許可します。寝具などの貸し出しますので必ず事前に報告してください。

※ 指導を受けても改善できない場合は、退寮してもらうことがあります。
迷惑をかけるような行為をしないことです。

12 自律学習のすすめ

・自分で計画を立て、勉強に取り組むことができるようになろう。

- (初級) 学校から出される宿題を行う。(調べる・書く・読み直す)
間違いを直し、繰り返し練習する。(復習)
関連の学習をする(練習問題・読む・調べる・書く・聞く)
*担任のアドバイスを聞いて学習を進める。
- (中級) 宿題を行う。(調べる・予習・練習)
弱点を補う学習。(成績表をもとに学習計画たてる)
*学習内容について、担任にアドバイスを求める。
- (上級) 成績や課題に応じて、自分の学習計画を見直して実行できる。
(レポートを書く、プレゼンテーション、討論会で話す、資料を読む、インタビューする等)
*担任に評価を求め、改善点に気づき、よりよい学習に改善できる。

※ 今後、進路先の高等教育機関では、書物を読む、レポートやプレゼンなど「読む・書く・話す」の課題が出されます。そのため、学校で習ったことを自分で使えるように勉強を進めることが大切です。そのためにも自分で考え、計画を立て、実行、成果を振り返り、また前に進むことができるよう日本語の勉強を頑張りましょう。また、このことを中上級レベルの学習で行います。

そして、本校で日本語を学ぶことを通して、自律した生活ができるようになり次のステップへ進むことができることを求めています。